



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月25日

上場会社名 山崎製パン株式会社
 コード番号 2212 URL <https://www.yamazakipan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 会田 正久
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	846,225	6.8	27,868	73.9	30,826	55.3	18,868	89.7
2022年12月期第3四半期	792,128	—	16,025	17.0	19,854	26.1	9,946	27.3

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 27,838百万円 (75.9%) 2022年12月期第3四半期 15,829百万円 (△2.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	91.38	—
2022年12月期第3四半期	47.48	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年12月期の期首から適用しております。
 このため、当該基準を適用する前の2021年12月期第3四半期連結累計期間の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 なお、2021年12月期第3四半期連結累計期間と同様の基準で算出した2022年12月期第3四半期連結累計期間の売上高の増減率は7.9%増であります。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	766,345	—	426,264	—	—	49.7
2022年12月期	758,031	—	407,897	—	—	48.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 381,201百万円 2022年12月期 363,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	—	—	22.00	22.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,133,000	5.2	34,000	54.3	38,000	45.4	20,000	61.7	96.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期3Q	220,282,860 株	2022年12月期	220,282,860 株
-------------	---------------	-----------	---------------

② 期末自己株式数

2023年12月期3Q	14,328,366 株	2022年12月期	11,647,754 株
-------------	--------------	-----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期3Q	206,490,727 株	2022年12月期3Q	209,475,275 株
-------------	---------------	-------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの5類感染症への変更により経済活動の正常化が進む中で、インバウンド需要の回復もあり外食や旅行は持ち直したものの、実質賃金の伸び悩みもあり、消費は総じて持ち直しに一服感がみられました。

当業界におきましては、物価の上昇が続き、お客様の生活防衛意識が高まる中で節約志向や低価格志向が一段と強まり販売競争が激化するとともに、主原料の小麦粉や卵、油脂など原材料価格の上昇もあり、厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、人流の回復に伴い、おにぎりやサンドイッチ、焼き立てパンなどの需要が伸びましたが、光熱費などの店舗コストが増加する厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にあります、当社グループは、「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、主力製品の品質向上をはかるとともに、2極化・3極化戦略によって低価格帯製品や値頃感のある製品の品揃えを充実し、女性製品開発担当者による高付加価値製品の開発に取り組むなど、変化するお客様のニーズに対応した隙のない製品対応を推進し、新しい価値と新しい需要の創造に取り組んでまいりました。また、当社は、本年7月1日、主原料の小麦粉を中心とした原材料価格の上昇に対処するため、一部の食パン、菓子パンの価格改定を実施しましたが、これを下支えする低価格帯製品や値頃感のある製品を充実強化したこともあり、業績は好調に推移しました。

また、本年3月31日付で、㈱神戸屋から包装パン事業の子会社㈱YKベーキングカンパニーの発行済株式全部を譲り受け、新経営体制の下でヤマザキの技術を最大限活用した製品の品質改善に取り組みました。

デイリーヤマザキやヴィ・ド・フランスなど小売事業につきましては、小売事業業績改善プロジェクトにより日次管理・週次管理の経営手法を徹底し、日々の仕事の精度向上につとめるとともに、小売事業本部内の戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携し、ヤマザキの技術を最大限活用した、魅力ある商品の開発を推進するなど業績回復に取り組んでまいりました。

また、新型コロナウイルスの感染対策が事業者等の判断に委ねられる中で、当社グループは、緊急事態においてパン、和菓子、洋菓子類を緊急食糧として社会に提供するという新しいヤマザキの精神に従い、製品の安定供給を確保するため、全従業員に対して検温を実施し、37.2℃以上の発熱がある者、また発熱がない場合でも新型コロナウイルス独特の自覚症状がある者を自宅待機とし、この自宅待機者数とPCR検査陽性者数を日々管理しました。また、マスクの着用や手指の消毒など日常の感染防止対策を徹底し、従業員5人以上の会食の原則禁止や感染の恐れの高い遊興施設の利用禁止など、公衆衛生上の遵守事項を徹底するとともに、職場の感染防止対策として、炭酸ガス濃度測定器によって、常時職場内の換気をしながら炭酸ガス濃度を700ppm以下に保つなど、社会的使命の達成に全力を挙げて取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は8,462億25百万円（対前年同期比106.8%）、営業利益は278億68百万円（対前年同期比173.9%）、経常利益は308億26百万円（対前年同期比155.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は188億68百万円（対前年同期比189.7%）となり、山崎製パン(株)単体が菓子パンを中心に好調に推移したことに加え、連結子会社の業績が改善したこともあり、増収増益となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

①食パン部門（売上高789億48百万円、対前年同期比103.7%）

食パンは、主力の「ロイヤルブレッド」が好調に推移するとともに、「モーニングスター」や「スイートブレッド」などの低価格帯食パンが伸びました。また、食べきりサイズのハーフサイズ食パンやサンドイッチ用食パンの伸びもあり、前年同期の売上を上回りました。

②菓子パン部門（売上高3,045億82百万円、対前年同期比109.1%）

菓子パンは、「コッペパン」や「まるごとソーセージ」など主力菓子パンに加え、ミニパンの薄皮シリーズ、低価格帯のヤマザキ菓子パンや「ドーナツステーション」などが伸長しました。さらに、コンビニエンスストアチェーン対応製品が伸長し、前年同期の売上を大きく上回りました。

③和菓子部門（売上高522億53百万円、対前年同期比101.6%）

和菓子は、主力の串団子やホットケーキが好調に推移するとともに、チルド製品の「クリームたっぷり生どら焼」や和洋折衷の新製品「やわらか生大福」の寄与もあり、前年同期の売上を上回りました。

④洋菓子部門（売上高1,077億11百万円、対前年同期比104.9%）

洋菓子は、主力の2個入り生ケーキや「大きなツインシュー」などのシュークリームが順調に推移するとともに、「5つに切ったロールケーキ」やチルド製品の「生クリームロール」の寄与もありスイスロールが好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高1,163億57百万円、対前年同期比106.1%）

調理パン・米飯類は、おにぎりが伸長するとともに、サンドイッチや調理麺が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高1,261億85百万円、対前年同期比107.1%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の「ホームパイ」や(株)東ハトの「ポテコ」、ヤマザキビスケット(株)の「チップスター」が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、食品事業の売上高は7,860億38百万円（対前年同期比106.7%）、営業利益は269億19百万円（対前年同期比166.1%）となりました。

<流通事業>

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携し、「ランチパック 大盛り」シリーズやデイリーホットなど、ヤマザキの技術を最大限活用した魅力ある商品の開発を推進し、お客様に喜ばれるヤマザキ独自のコンビニエンスストアチェーンをめざしました。また、松戸・杉並ドミナントプロジェクトによりデイリーホットを中心に品質の向上と収益改善に取り組むとともに、既存店舗の改装を推進し、ヤマザキらしいお店づくりと競争力の強化をはかりました。当第3四半期は、チェーン全店売上高は前年同期を上回るとともに、営業総収入は直営店舗数の増加もあり増収となりました。

以上の結果、流通事業の売上高は499億5百万円（対前年同期比109.5%）、営業損失は13億60百万円（前年同期は23億22百万円の営業損失）となりました。

<その他事業>

その他事業につきましては、売上高は102億81百万円（対前年同期比106.9%）、営業利益は19億10百万円（対前年同期比107.7%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は7,663億45百万円で、前連結会計年度末に対して83億14百万円増加しました。流動資産は2,868億82百万円で、売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して44億39百万円減少しました。固定資産は4,794億63百万円で、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に対して127億53百万円増加しました。負債合計は3,400億81百万円で、支払手形及び買掛金等の支払債務の減少や借入金の返済により、前連結会計年度末に対して100億52百万円減少しました。純資産は4,262億64百万円で、自己株式の取得による減少がありました。利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に対して183億66百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は49.7%となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、消費の持ち直しが持続し、緩やかな景気回復が続くことが期待されます。一方で、当業界におきましては、物価の上昇が続きお客様の節約志向が一層強まる中で、卵、糖類、包材など原材料価格の高止まりが予測され、厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況下にあります、当社グループは、引き続き「いのちの道」の教えに従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、主力製品の品質向上をはかるとともに、2極化・3極化戦略によってお客様のニーズに対応した隙のない製品対応をはかり、新しい価値と新しい需要の創造に取り組んでまいります。第4四半期につきましても、山崎製パン(株)の菓子パンを中心に好調なスタートを切っておりますが、2023年8月1日にて公表いたしました通期の業績予想を据え置いております。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	125,184	128,576
受取手形	184	97
売掛金	123,520	113,125
商品及び製品	13,254	15,223
仕掛品	922	1,029
原材料及び貯蔵品	13,952	14,527
その他	14,690	14,657
貸倒引当金	△388	△353
流動資産合計	291,321	286,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	416,940	421,036
減価償却累計額	△304,580	△309,114
建物及び構築物(純額)	112,360	111,921
機械装置及び運搬具	557,718	564,502
減価償却累計額	△469,382	△479,873
機械装置及び運搬具(純額)	88,336	84,629
工具、器具及び備品	40,826	41,632
減価償却累計額	△33,197	△34,056
工具、器具及び備品(純額)	7,628	7,576
土地	114,813	115,532
リース資産	19,872	20,045
減価償却累計額	△12,933	△13,569
リース資産(純額)	6,939	6,475
建設仮勘定	2,307	3,418
有形固定資産合計	332,385	329,553
無形固定資産		
のれん	10,518	9,294
その他	12,847	12,894
無形固定資産合計	23,365	22,189
投資その他の資産		
投資有価証券	65,876	85,643
長期貸付金	812	2,762
退職給付に係る資産	490	483
繰延税金資産	16,129	11,913
その他	29,866	29,019
貸倒引当金	△2,217	△2,102
投資その他の資産合計	110,958	127,720
固定資産合計	466,709	479,463
資産合計	758,031	766,345

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,496	79,508
短期借入金	55,795	55,905
リース債務	3,159	3,138
未払法人税等	6,273	6,590
未払費用	39,079	37,234
賞与引当金	5,186	14,435
店舗閉鎖損失引当金	47	50
資産除去債務	29	14
その他	44,272	39,258
流動負債合計	237,341	236,137
固定負債		
長期借入金	22,779	16,857
リース債務	4,476	3,763
役員退職慰労引当金	4,795	5,009
債務保証損失引当金	33	33
退職給付に係る負債	68,598	66,569
資産除去債務	4,977	4,870
その他	7,131	6,840
固定負債合計	112,791	103,943
負債合計	350,133	340,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,632	9,632
利益剰余金	317,816	332,085
自己株式	△21,891	△26,185
株主資本合計	316,572	326,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,838	35,548
繰延ヘッジ損益	△14	1
土地再評価差額金	99	99
為替換算調整勘定	5,635	5,640
退職給付に係る調整累計額	13,607	13,364
その他の包括利益累計額合計	47,166	54,654
非支配株主持分	44,158	45,062
純資産合計	407,897	426,264
負債純資産合計	758,031	766,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	792,128	846,225
売上原価	537,628	573,265
売上総利益	254,499	272,959
販売費及び一般管理費	238,473	245,090
営業利益	16,025	27,868
営業外収益		
受取利息	96	198
受取配当金	748	804
固定資産賃貸収入	746	741
持分法による投資利益	574	557
為替差益	1,535	916
雑収入	1,197	902
営業外収益合計	4,899	4,119
営業外費用		
支払利息	559	544
固定資産賃貸費用	245	230
災害による損失	34	126
雑損失	230	260
営業外費用合計	1,070	1,161
経常利益	19,854	30,826
特別利益		
固定資産売却益	82	99
関係会社株式売却益	—	76
助成金収入	※1 456	—
その他	15	107
特別利益合計	554	282
特別損失		
固定資産除売却損	994	863
減損損失	628	293
投資有価証券評価損	305	2
その他	276	303
特別損失合計	2,204	1,462
税金等調整前四半期純利益	18,204	29,647
法人税等	6,839	10,077
四半期純利益	11,365	19,569
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,418	701
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,946	18,868

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	11,365	19,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,950	7,801
為替換算調整勘定	4,836	682
退職給付に係る調整額	1,581	△254
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	39
その他の包括利益合計	4,463	8,269
四半期包括利益	15,829	27,838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,846	26,356
非支配株主に係る四半期包括利益	2,983	1,482

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年2月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,680,300株の取得を行っております。この結果等により、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が4,294百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が26,185百万円となっております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 助成金収入

前第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症に伴う政府によるまん延防止等重点措置等や各自治体からの営業時間短縮要請に応じたフレッシュベーカー等、海外を含む小売事業において営業時間の短縮等を実施いたしました。

当該営業時間短縮等による協力金等は、「助成金収入」として特別利益に計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	76,102	—	—	76,102	—	76,102
菓子パン	279,172	—	—	279,172	—	279,172
和菓子	51,412	—	—	51,412	—	51,412
洋菓子	102,662	—	—	102,662	—	102,662
調理パン・米飯類	109,696	—	—	109,696	—	109,696
製菓・米菓・その他商品類	117,869	—	—	117,869	—	117,869
その他	—	45,591	9,487	55,078	—	55,078
顧客との契約から生じる収益	736,916	45,591	9,487	791,995	—	791,995
その他の収益	—	—	133	133	—	133
外部顧客への売上高	736,916	45,591	9,620	792,128	—	792,128
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,911	7,628	27,983	42,522	△42,522	—
計	743,827	53,219	37,603	834,651	△42,522	792,128
セグメント利益又は損失(△)	16,207	△2,322	1,774	15,659	366	16,025

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額366百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
食パン	78,948	—	—	78,948	—	78,948
菓子パン	304,582	—	—	304,582	—	304,582
和菓子	52,253	—	—	52,253	—	52,253
洋菓子	107,711	—	—	107,711	—	107,711
調理パン・米飯類	116,357	—	—	116,357	—	116,357
製菓・米菓・その他商品類	126,185	—	—	126,185	—	126,185
その他	—	49,905	10,137	60,043	—	60,043
顧客との契約から生じる収益	786,038	49,905	10,137	846,081	—	846,081
その他の収益	—	—	144	144	—	144
外部顧客への売上高	786,038	49,905	10,281	846,225	—	846,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,911	7,263	28,986	45,161	△45,161	—
計	794,949	57,169	39,267	891,386	△45,161	846,225
セグメント利益又は損失(△)	26,919	△1,360	1,910	27,468	400	27,868

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額400百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 連結販売実績

(単位:百万円)

セグメント名称	区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	76,102	9.6%	78,948	9.3%	2,846	103.7%
	菓 子 パ ン	279,172	35.2	304,582	36.0	25,410	109.1
	和 菓 子	51,412	6.5	52,253	6.2	840	101.6
	洋 菓 子	102,662	13.0	107,711	12.7	5,048	104.9
	調理パン・米飯類	109,696	13.8	116,357	13.8	6,661	106.1
	製菓・米菓・その他商品類	117,869	14.9	126,185	14.9	8,315	107.1
	食 品 事 業 計	736,916	93.0	786,038	92.9	49,121	106.7
	流 通 事 業	45,591	5.8	49,905	5.9	4,314	109.5
	そ の 他 事 業	9,620	1.2	10,281	1.2	661	106.9
	合 計	792,128	100.0	846,225	100.0	54,097	106.8

(2) 主要子会社実績

(単位:百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第3四半期	当第3四半期	増 減 額	増 減 率	前第3四半期	当第3四半期	増 減 額	増 減 率
(株)不二家(連結)	72,058	75,208	3,149	4.4%	2,516	△ 201	△ 2,718	—%
(株)サンデリカ	74,108	77,570	3,461	4.7	314	1,212	898	285.9
ヤマザキビスケット(株)	21,442	23,081	1,638	7.6	△ 56	580	637	—
(株)ヴィ・ド・フランス	19,275	21,001	1,726	9.0	△ 1,073	134	1,207	—
(株)東ハト	18,347	19,793	1,445	7.9	739	1,139	399	54.0

(3) 2023年12月期第3四半期の単体業績 (2023年1月1日～2023年9月30日)

①単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	606,129	6.8	21,289	84.0	24,870	56.2	16,201	60.1
2022年12月期第3四半期	567,554	—	11,572	△2.3	15,923	10.4	10,117	9.8

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年12月期の期首から適用しております。

このため、当該基準を適用する前の2021年12月期第3四半期累計期間の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載しておりません。

なお、2021年12月期第3四半期累計期間と同様の基準で算出した2022年12月期第3四半期累計期間の売上高の増減率は3.4%増であります。

②単体財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
2023年12月期第3四半期	555,170	316,126
2022年12月期	549,583	301,239

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(4) 単体販売実績

(単位:百万円)

期別 品種別	前第3四半期 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)		当第3四半期 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	73,878	13.0%	76,546	12.6%	2,668	103.6%
菓子パン	255,526	45.0	277,607	45.8	22,080	108.6
和菓子	50,896	9.0	51,698	8.5	801	101.6
洋菓子	77,294	13.6	81,232	13.4	3,938	105.1
調理パン・米飯類	39,062	6.9	41,962	6.9	2,899	107.4
製菓・米菓・その他商品類	34,291	6.0	37,380	6.2	3,088	109.0
小計	530,950	93.5	566,427	93.4	35,477	106.7
デイリーヤマザキ事業	48,095	8.5	52,985	8.7	4,890	110.2
内部消去	△11,491	△2.0	△13,283	△2.1	△1,792	—
合計	567,554	100.0	606,129	100.0	38,575	106.8

(5) 単体営業利益増減の内訳

(単位:百万円)

	2022年 第3四半期		2023年 第3四半期		増減額	増減率 (%)
		%		%		
営業利益						
山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)	13,798	2.6	22,594	4.0	8,796	63.7
デイリーヤマザキ事業	△2,225	△4.6	△1,305	△2.5	920	—
合計	11,572	2.0	21,289	3.5	9,716	84.0

<山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)増減内訳>

(単位:百万円)

	2022年 第3四半期		2023年 第3四半期		増減額	増減率 (%)	営業利益増減要因
		%		%			
売上総利益	159,710	30.1	172,079	30.4	12,369	7.7	売上高の増加 16,434 原材料費の増加 ▲3,470 製造労務費の減少 876 製造経費の増加 ▲1,772 製造償却費の減少 262 その他 39
販売費及び一般管理費	145,911	27.5	149,484	26.4	3,572	2.4	人件費の減少 9 経費の増加 ▲3,472 償却費の増加 ▲109

(注) 「営業利益増減要因」欄で▲は営業利益のマイナス影響を表しています。

「%」欄は山崎製パン(デイリーヤマザキ事業を除く)の売上高に対する比率を記載しています。